



Yokohama Arts Foundation

令和3年10月26日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
大佛次郎記念館

おさらぎじろう 猫好き大佛次郎の作品世界を挿絵で表現！

女子美術大学付属中学校2年生による挿絵『猫のいる日々』展示

大佛次郎記念館では、1階ロビーにおいて、女子美術大学付属中学校2年生が描いた挿絵138点を展示しています。

大佛次郎(1897～1973)が猫を題材にした作品は60篇以上。その中から10篇を選び、夏休みの課題として、挿絵を描いてもらいました。

じっくり読みこまなくてはなかなか描くことが出来ないと思われる感性が光る挿絵もあり、見ごたえがあります。



<展示中の挿絵と大佛作品紹介より>



「猫の風呂番」(エッセイ)

大佛家の浴室で、ほかの猫と離れて暮らしている雌猫の話。
ある寒い日、風呂に入ろうとした大佛次郎は、バスタブの蓋の上に猫がいるので湯船を遠慮する。あとで聞いた話によると、猫はまるで女王様のように浴室で快適に暮らしているのだった。



挿絵とともに、課題の大佛作品10篇のあらすじ、引用を紹介しています。

展示だけでも楽しめますが、これらの作品は単行本『猫のいる日々』に収録されているので、先にじっくり挿絵を鑑賞してから読むのもよし、本を読んでから「どんな場面かな？」と想像しながら展示を観るもよし。時を超えて実現した、大佛次郎と中学生とのコラボレーションをお楽しみください。

『猫のいる日々』…500匹以上の猫と暮らしたという大佛次郎が書いた、猫のエッセイ、小説、童話あわせて60篇以上を収録した作品集。大佛没後の1978年に六興出版より刊行、徳間文庫で販売中。

展示場所	大佛次郎記念館 1階ロビーで開催中	料 金	入館料 大人(高校生以上)200円 中学生以下 無料 ※横浜市内在住の65歳以上の方は無料 ※毎月23日「市民の読書の日」と、第2・第4土曜日は高校生無料 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
展示期間	2021年12月25日(土)まで		
開館時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)		
休館日	月曜日(祝休日の場合は翌平日)		

情報掲載をよろしくお願ひ申し上げます。記念館取材及び広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先

大佛次郎記念館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】
館長：福富潤子 広報担当：大房奈央子 展示担当：金城瑠以
TEL：045-622-5002 mail：osaragi@yaf.or.jp